

2018年2月2日

ご参考資料

Monthly  
Market

## 2018年1月のマーケットをザックリご紹介

- 最近気になるトピック : 原油価格の上昇と米国株式市場の動向
- ピックアップカントリー : ユーロ圏、インドネシア

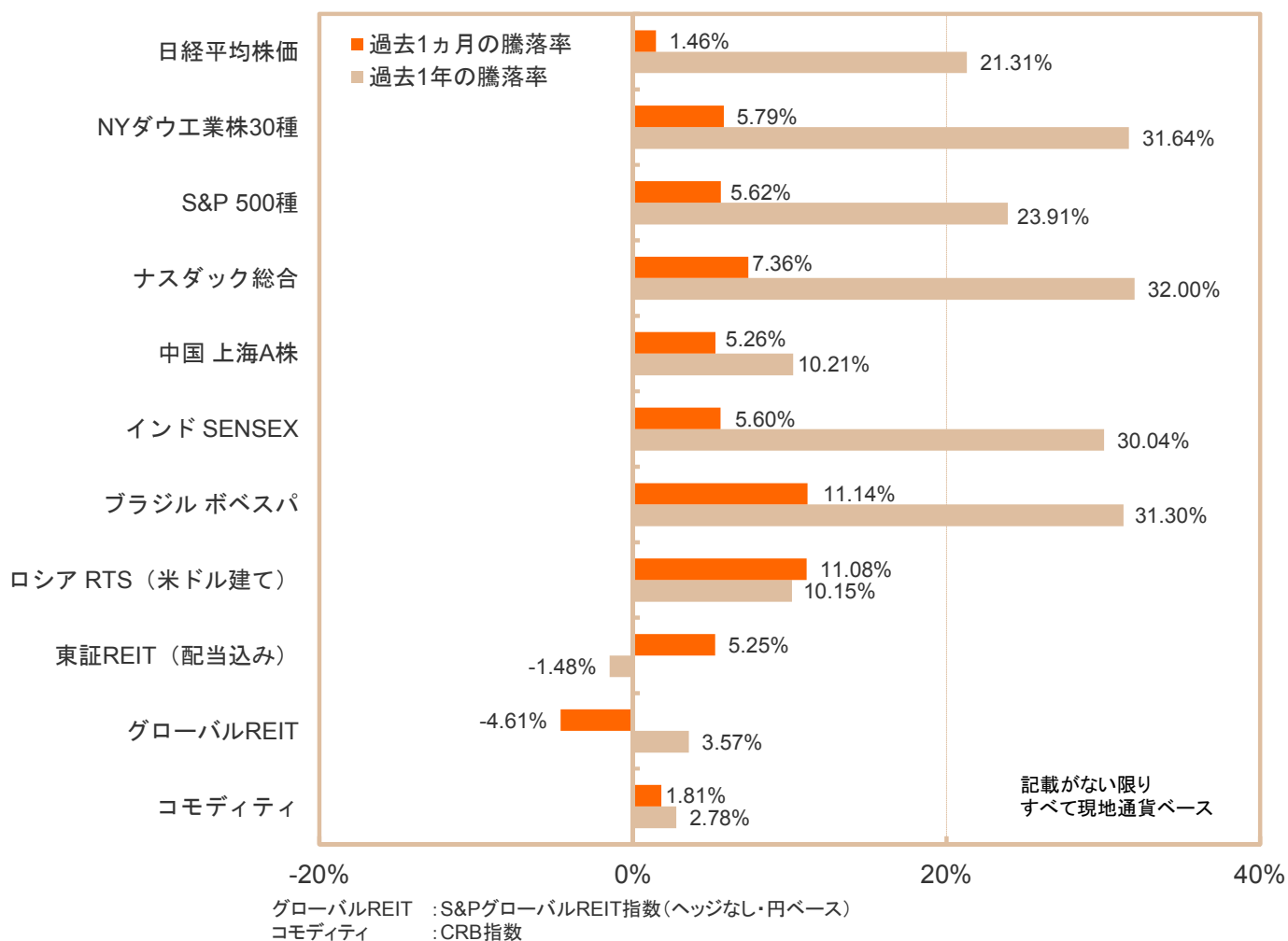
マンスリー・マーケット

nikko am  
fund academy

昨年末、米国において税制改革法が成立したことを受け景気拡大への期待が高まる中、1月の株式市場は世界的に上昇基調となりました。為替市場では、量的緩和の早期縮小観測を背景にユーロが、原油など商品価格の上昇を背景に資源国通貨が上昇基調となる一方、米政府高官の米ドル安容認発言の影響などもあり、米ドル安が進行する展開となり、円相場(対米ドル)は1米ドル=108円台まで上昇しました。日経平均株価は業績期待などを背景に上昇し、23日に24,000円台を付けたものの、月末にかけて上げ幅を縮めました。

## 主な指標の騰落率(株式、REIT、コモディティ)

(2018年1月末現在)



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

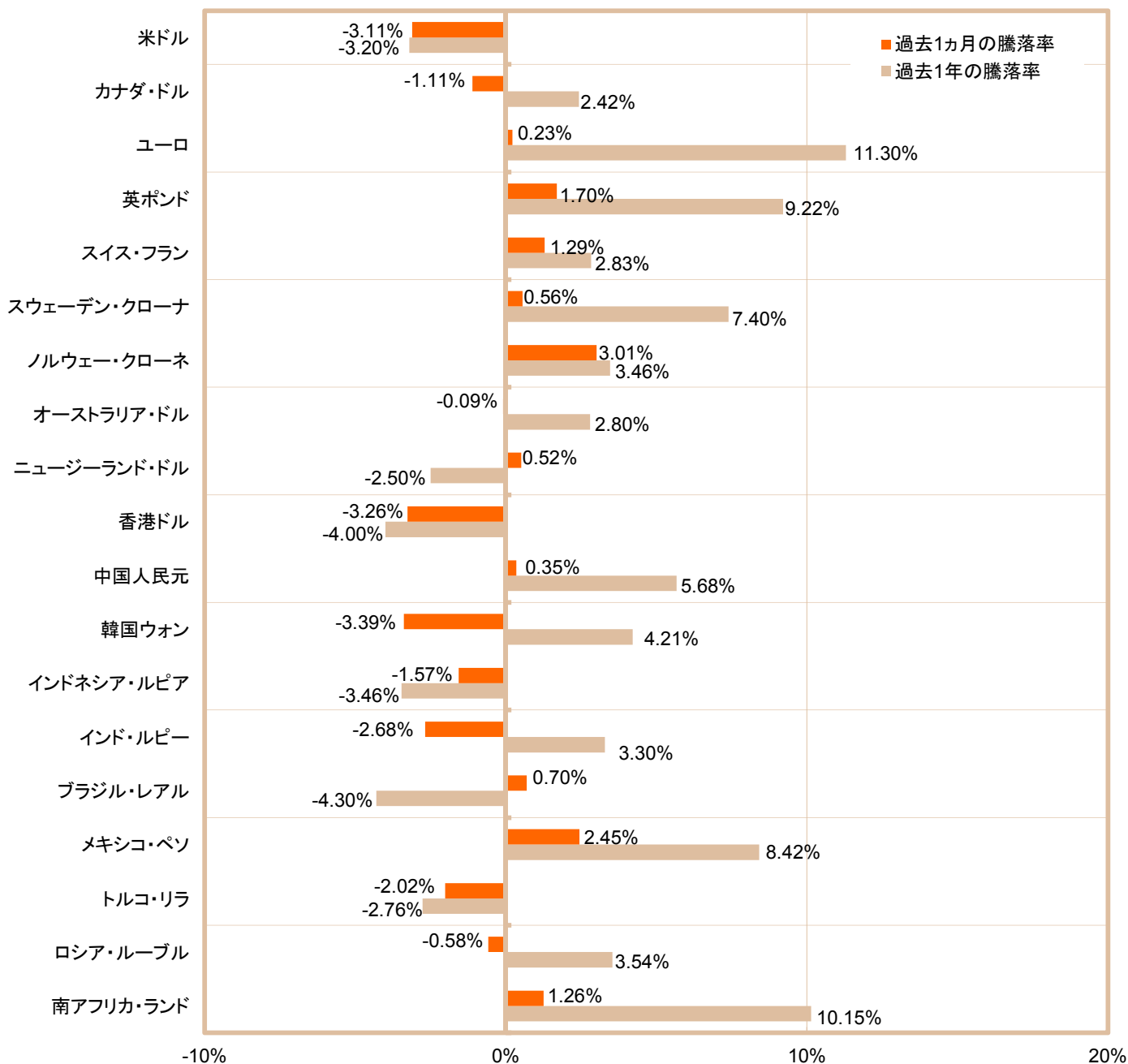
日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 主な為替の騰落率(対円)

(2018年1月末現在)

円高 ← → 各国通貨高



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 2018年1月の主な出来事

キーワード	出来事	マーケットの反応など
景気動向	米国 ISM製造業景況 指数が 3ヵ月ぶりに上昇	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3日に発表された、12月のISM(供給管理協会)製造業景況指数は59.7と、横ばい予想に反して3ヵ月ぶりに上昇した。同指数は50が好不況の境目。世界景気や米企業業績の改善期待に加え、原油先物価格の上昇などもあり、ハイテク株やエネルギー関連株を中心に株価が上昇し、主要3指数が揃って最高値を更新した。また、12月のFOMC(連邦公開市場委員会)の議事要旨が公表され、会合参加者の大部分が緩やかな利上げの継続を支持していることが明らかとなり、米ドルが反発した。ユーロ安もあり、欧州でも株式市場が上昇した。なお、原油先物は、イランで12月28日に始まった反政府デモが年明け以降も沈静化せず、地政学リスクを背景に買われた。</li> </ul>
雇用統計	米国 雇用者数は 予想を下回る伸び	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 5日に発表された12月の非農業部門雇用者数は前月比+14.8万人にとどまり、予想を下回ったが、失業率は横ばいの4.1%だった。また、平均時給は前年同月比+2.5%に伸びが高まった。12月のISM非製造業景況指数は55.9と、予想に反して2ヵ月連続の低下だった。同指数は50が好不況の境目。世界景気への楽観や米企業収益への期待などから株価は続伸し、主要3指数が最高値を更新した。ただし、米ドルは対円で下落し、円相場は1米ドル=113円台となった。</li> </ul>
原油動向	WTI原油先物 3年1ヵ月ぶりの 水準に上昇	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 10日に発表される米週間統計で、同国の原油在庫が一段と減少すると市場見通しが明らかとなったほか、米EIA(エネルギー情報局)が2018年の原油価格の予想を上方修正したこともあり、9日に原油先物を買われた。10日には米原油在庫が予想を上回る減少となったほか、米ドル安が続いたことなどもあり、原油先物は週末まで続伸、WTIは1バレル=64米ドル台と、2014年12月以来の高値で引けた。NY金先物も米ドル安を背景に週半ば以降買われ、4ヵ月ぶりの水準となった。</li> </ul>
金融政策	ユーロ圏 資産買入れを 9月で終わらせる 可能性に言及	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 15日、ECB(欧州中央銀行)政策委員会メンバーのエストニア中銀総裁が、経済成長とインフレ率が予測とほぼ一致すれば、ECBは9月に資産買入れを一気に終了できるとの見解を示したと報じられた。ユーロ圏の国債利回りが総じて上昇したほか、ユーロが続伸した。ユーロ圏株式市場は、ユーロ高を嫌気した売りや利益確定売りなどから反落した。</li> </ul>
景気動向	中国 GDPは予想を 上回り、 通年では7年ぶり に成長が加速	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 18日に発表された中国のGDPは、10-12月期が前年同期比+6.8%、2017年通年で前年比+6.9%と、ともに予想を上回り、通年で2010年以来の成長率加速となった。また、12月は、小売売上高が前年同月比+9.4%と、予想を下回り、2006年2月以来の一番台の伸びにとどまったが、鉱工業生産は+6.2%に伸びが高まったほか、年初来累計の都市部固定資産投資は前年同期比+7.2%と、前月までと同率だった。19日に中国株式市場は上昇した。</li> </ul>
政治動向	米国 2月8日までの 暫定予算成立へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 移民政策を巡る与野党の対立が続いたことなどから、19日をもって連邦暫定予算が失効し、20日に政府機関の一部閉鎖が始まった。ただ、22日には、2月8日までの暫定予算が成立の見通しとなったほか、企業業績期待などもあり、主要3株価指数が最高値を更新した。なお、暫定予算は同日に成立し、23日には、ハイテク株が買われ、S&amp;P500種、ナスダック総合の両指数が最高値を更新した。</li> </ul>
為替動向	米国 財務長官 足元の米ドル安に 懸念を示さず	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 24日、ムニューシン財務長官は、米ドル安は米国にとって良いことだと述べた。米ドルが一段と売られ、対円で一時、108円台後半まで下落したほか、国債利回りが上昇した。株式市場では、金融株などが買われ、NYダウ工業株30種が最高値を更新したが、ハイテク株は上値の重い展開となった。</li> </ul>
為替動向	米国 トランプ大統領 「米ドルはどんどん 強くなる」 との見解を示す	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 25日、トランプ大統領は、米国の経済などが強くなるのに伴ない、「米ドルはどんどん強くなる。最終的に強い米ドルを見たい」とインタビューで述べた。米ドルが反発し、円相場が109円台に下落したほか、国債利回りは低下した。NYダウ工業株30種、S&amp;P500種の両指数が最高値を更新したものの、米ドルの反発を受けてハイテク株が売られるなど、上げ幅が縮まった。</li> </ul>

※上記データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

最近気になるトピック

原油価格の上昇と米国株式市場の動向

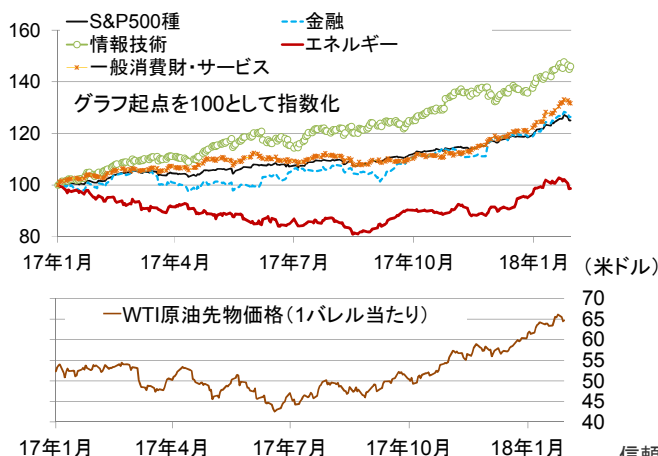
世界的に景気拡大の動きがみられ、また、昨年11月30日のOPEC(石油輸出国機構)総会において、OPEC加盟・非加盟の主要産油国の協調減産の期限が2018年末まで延長されたことを受け、買い安心感が広がる中、原油価格は上昇基調となっています。特に、年末・年始にかけては、①リビア最大の原油積み出し港につながるパイプラインの爆破が報じられ供給減少懸念が広がったこと、②年末にイランで始まった反政府デモが年明け以降も鎮静化せず、原油の安定供給への懸念が広がったこと、③北米の寒波の影響で石油製品需要が強いことなどを受け、米週間統計において米原油在庫の減少が続いたこと、④米EIA(エネルギー情報局)が2018年の原油価格の予想を上方修正したこと、⑤米ドル安基調となったこと、などを背景に原油価格はその水準を切り上げました。WTI原油先物価格は、2018年1月26日に1バレル=66.14米ドルと、2014年12月以来の高値を付けました。

このような中、米国株式市場では、昨年10月半ば以降、エネルギー株式が上昇基調となっています。これは、WTI原油先物価格が50米ドル台を上回る水準で上昇し続けたことに伴い、投資家の間でエネルギーセクターにおける業績回復期待が高まったためと考えられます。実際、2017年10-12月期の決算において、世界トップクラスの米油田サービス会社2社が、市場予想を上回る内容を発表し、エネルギー業界の先行きに対して明るさが増す状況となっています。

原油価格が今後もこれまでのようなペースで上昇し続けるかどうかについては、懐疑的な見方があります。それは、この先、地政学リスク(①、②)や北米の寒波の影響(③)といった要因は剥落するとみられるほか、原油価格の上昇の動きを受け、米シェールオイルの増産が意識されやすくなると考えられるからです。また、足元では好感されているOPEC加盟・非加盟の主要産油国による協調減産についても、2018年後半にかけては、出口戦略への意識が高まるとみられ、原油価格の下押し要因となることが想定されます。ただし、足元で世界経済の自律回復の動きが続いていることに加え、米国では昨年末に税制改革法が成立したことを受け、景気拡大期待が一段と高まっていることなどを踏まえると、需要拡大期待などを背景に、原油価格の下値は支えられるものとみられます。そして、原油市況について、安定した環境が続くようであれば、出遅れ感などを背景に、米国株式市場においてエネルギー株式に対する注目が投資家の間で広がる可能性が考えられます。

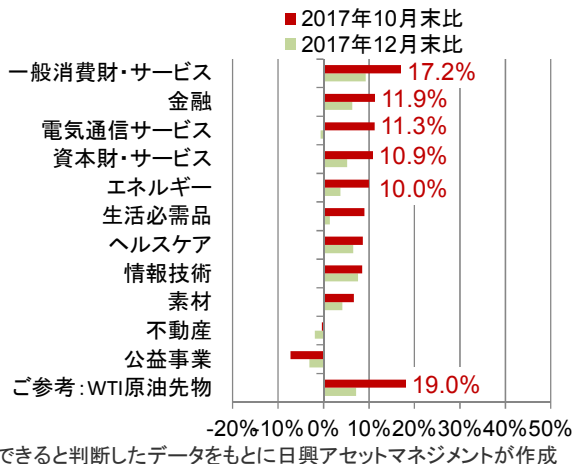
S&P500種および主な業種別指数の推移

(2017年1月初～2018年1月末)



S&P500種の業種別騰落率

(2018年1月末時点)



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

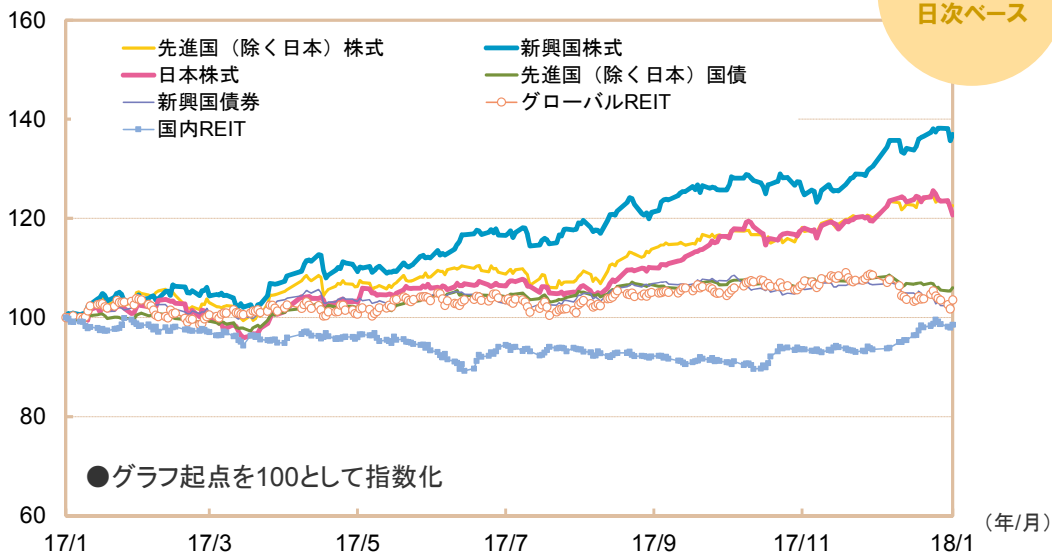
日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

## 代表的な資産の動き(円ベース)

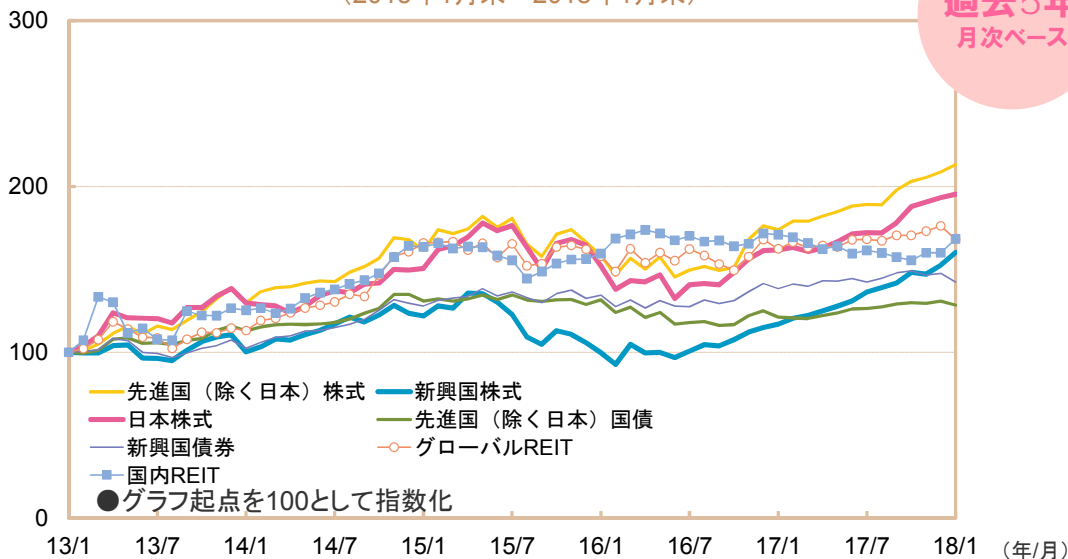
(2017年1月末~2018年1月末)

過去1年  
日次ベース



(2013年1月末~2018年1月末)

過去5年  
月次ベース



先進国(除く日本)株式	: MSCI-KOKUSAIインデックス(米ドル・ベース)を日興アセットマネジメントが円換算
新興国株式	: MSCIエマージング・マーケット・インデックス(米ドル・ベース)を日興アセットマネジメントが円換算
日本株式	: TOPIX(東証株価指数)
先進国(除く日本)国債	: FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債券	: JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(ヘッジなし・米ドル・ベース)を日興アセットマネジメントが円換算
グローバルREIT	: S&PグローバルREIT指数(ヘッジなし・円ベース)
国内REIT	: 東証REIT指数(配当込み)

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

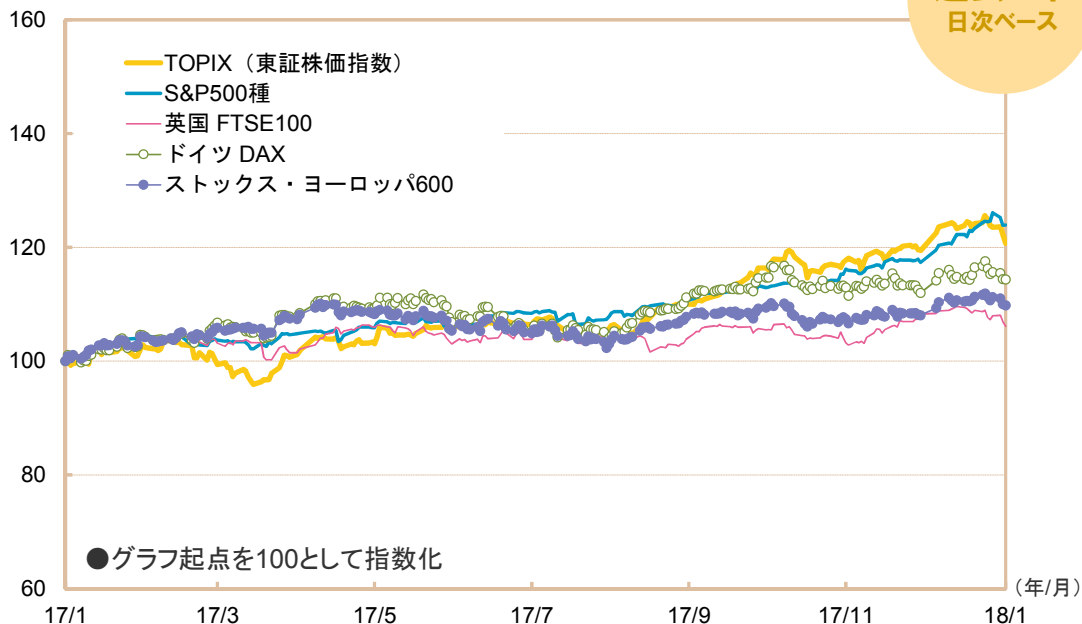
日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 先進国の株価指数の動き

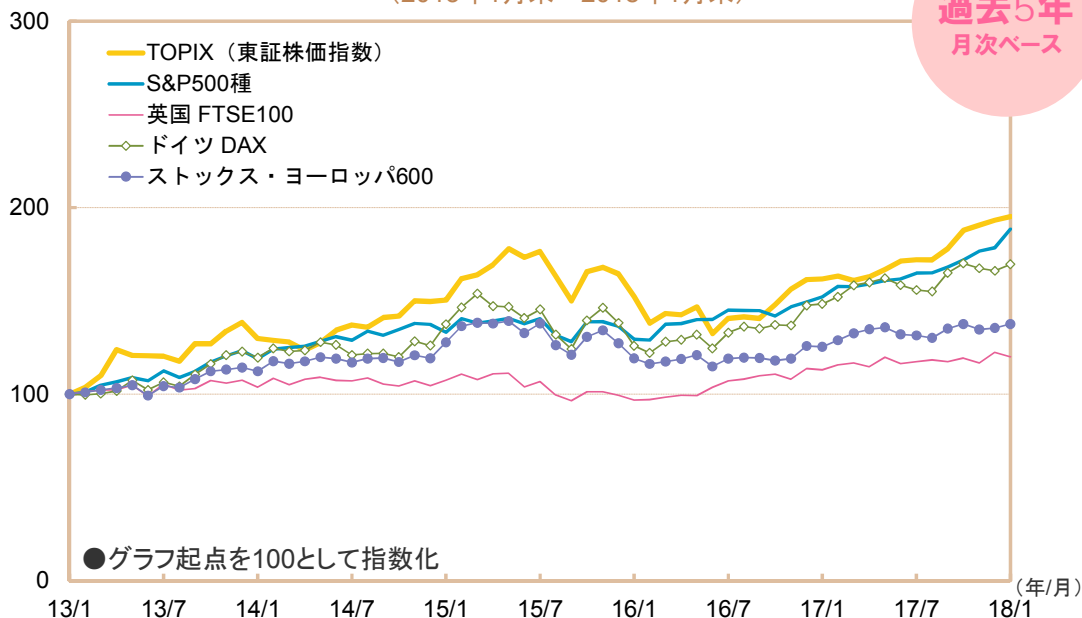
(2017年1月末～2018年1月末)

過去1年  
日次ベース



(2013年1月末～2018年1月末)

過去5年  
月次ベース



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

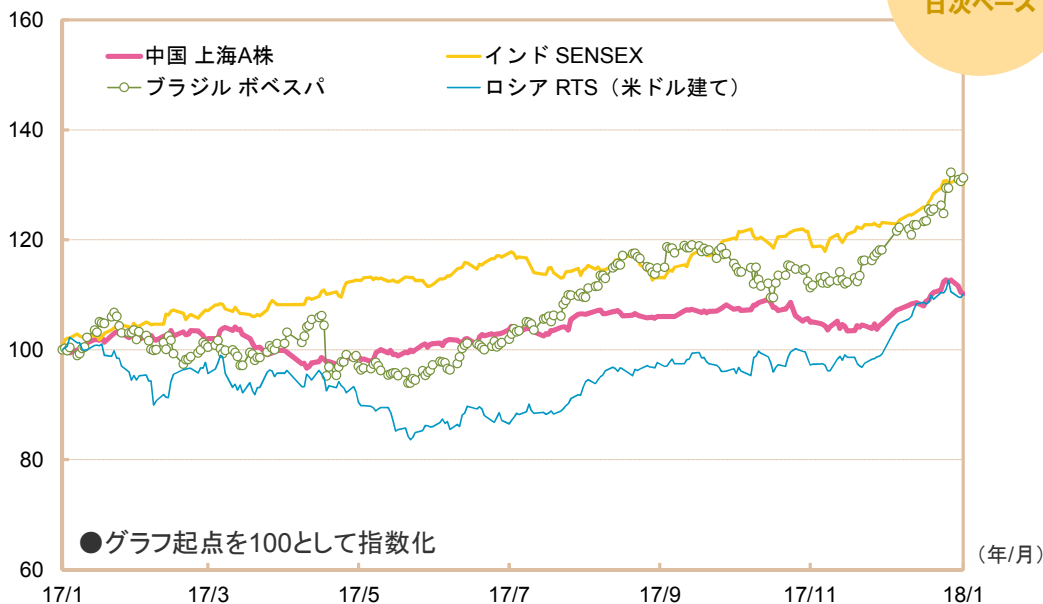
日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## BRICsの株価指数の動き

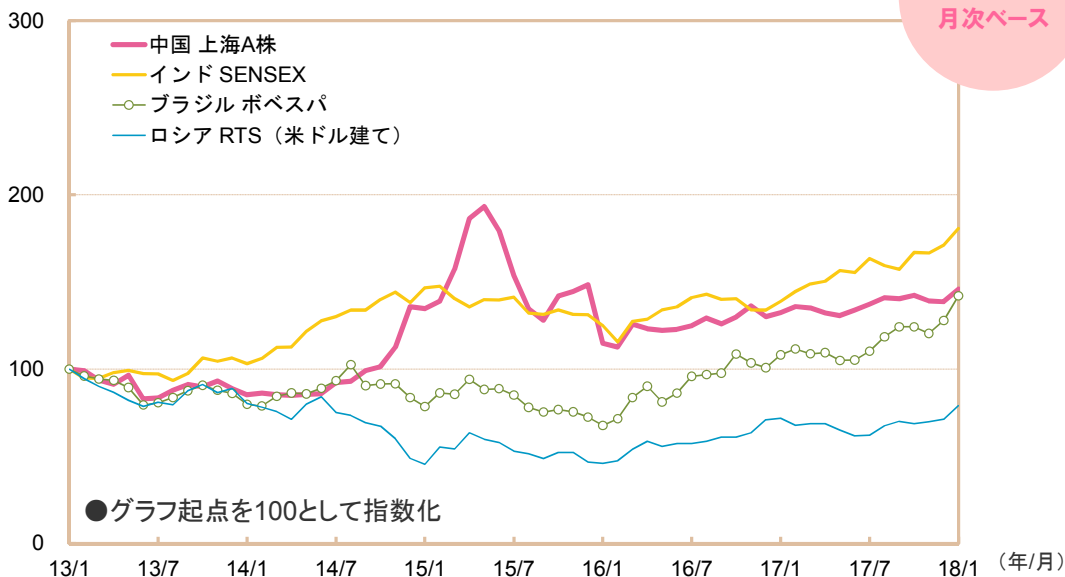
(2017年1月末～2018年1月末)

過去1年  
日次ベース



(2013年1月末～2018年1月末)

過去5年  
月次ベース



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

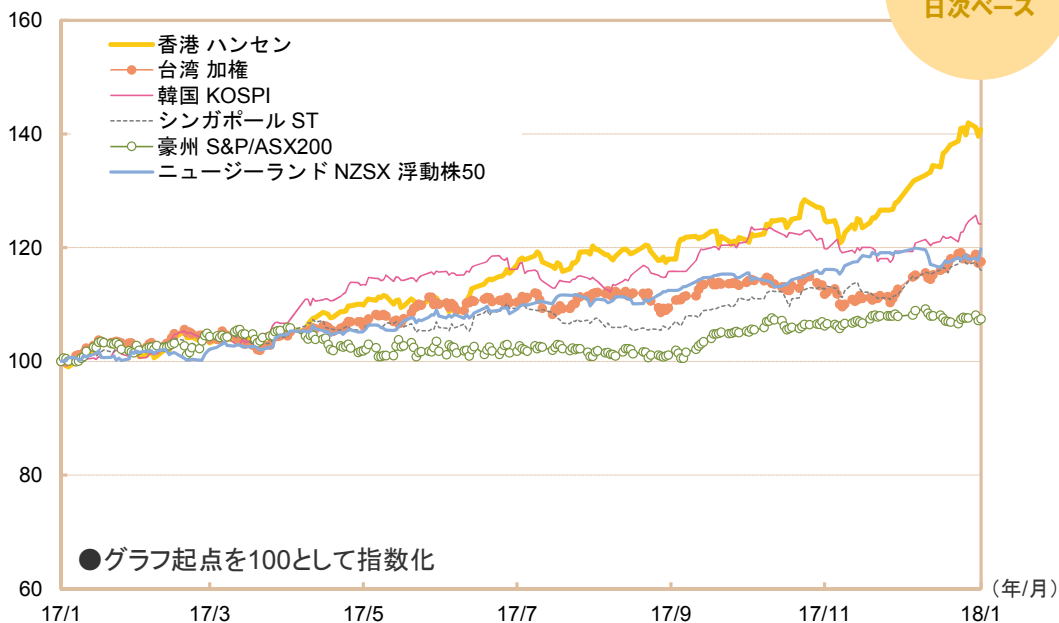
日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## アジア・オセアニアの株価指数の動き

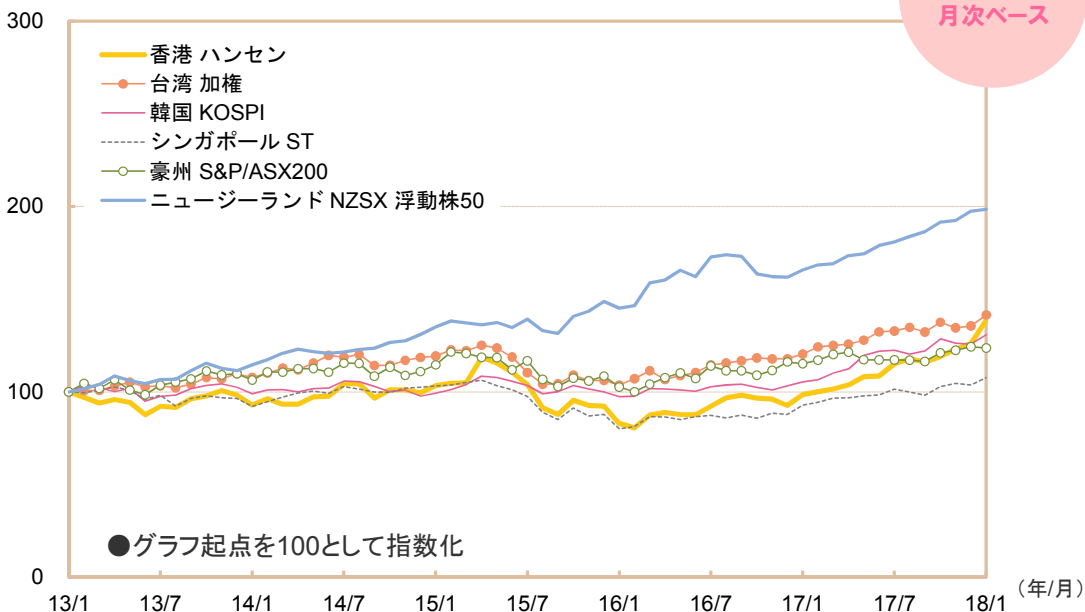
(2017年1月末～2018年1月末)

過去1年  
日次ベース



(2013年1月末～2018年1月末)

過去5年  
月次ベース



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

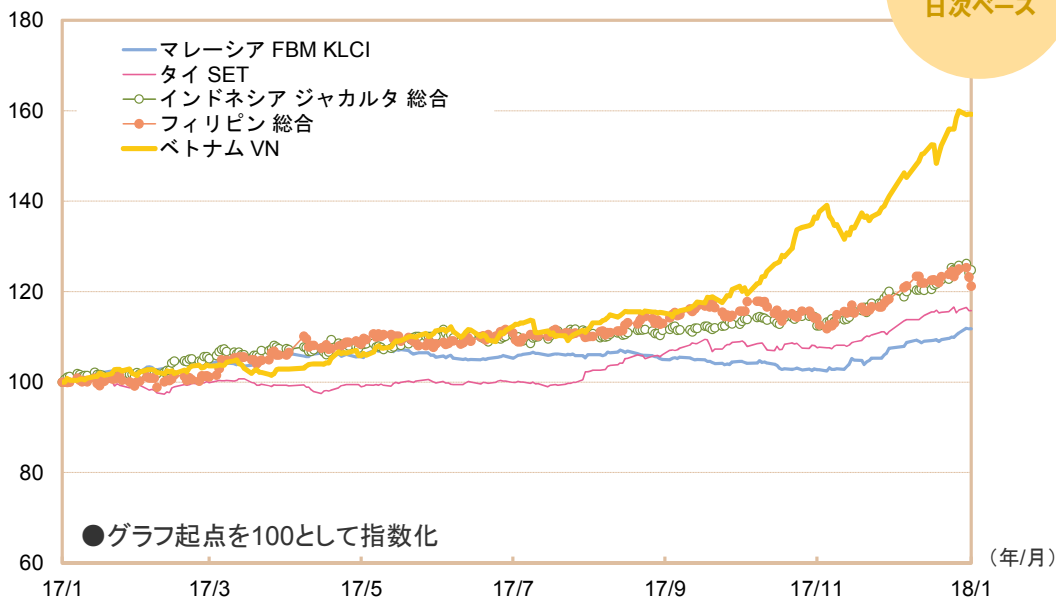
■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



## その他新興国の株価指数の動き①

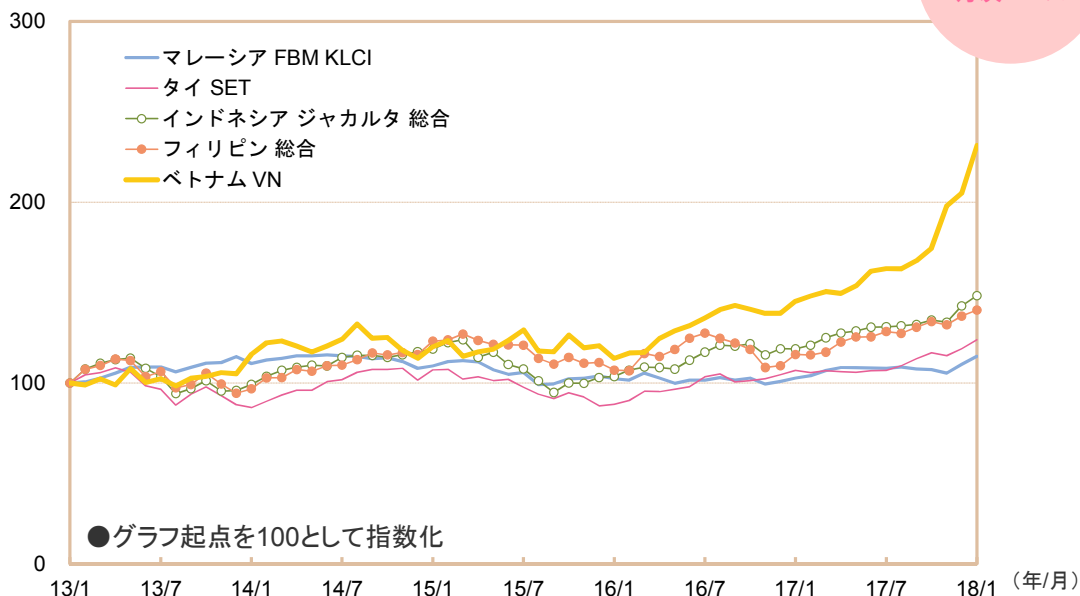
(2017年1月末～2018年1月末)

過去1年  
日次ベース



(2013年1月末～2018年1月末)

過去5年  
月次ベース



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

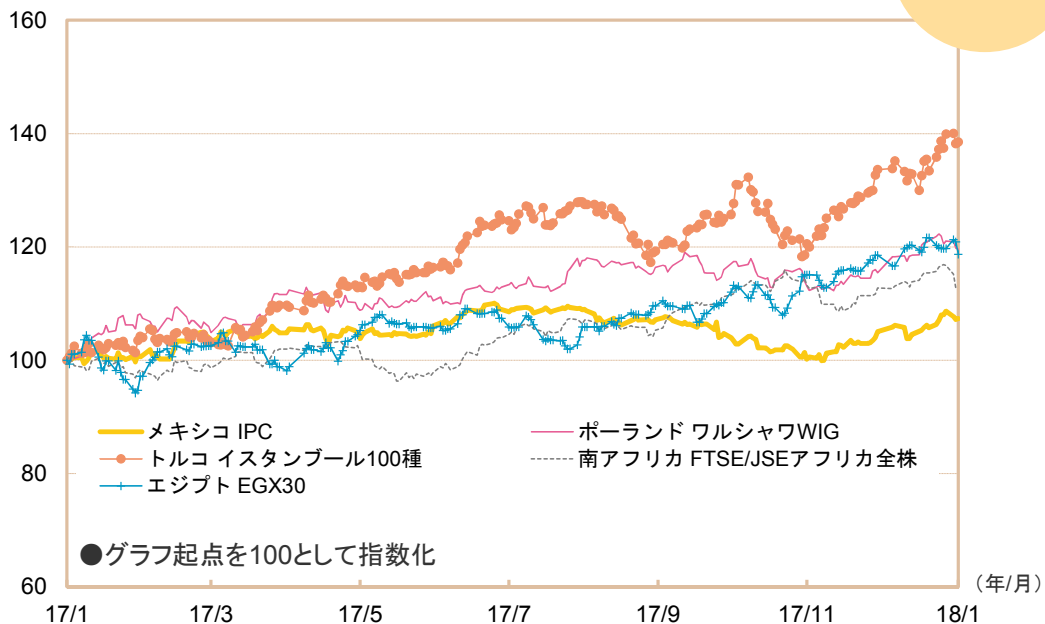
日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## その他新興国の株価指数の動き②

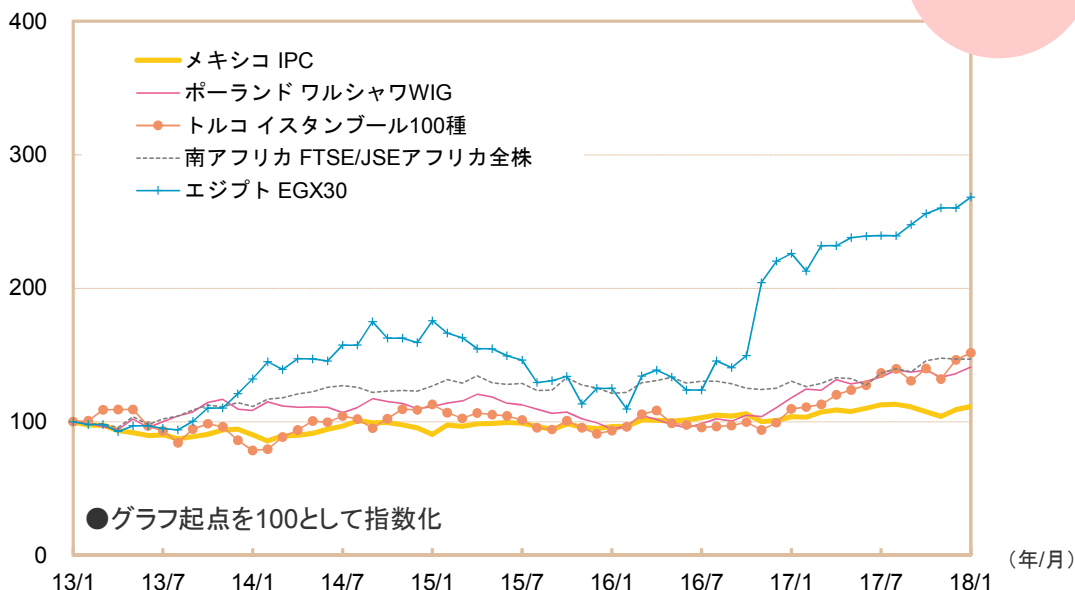
(2017年1月末～2018年1月末)

過去1年  
日次ベース



(2013年1月末～2018年1月末)

過去5年  
月次ベース



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

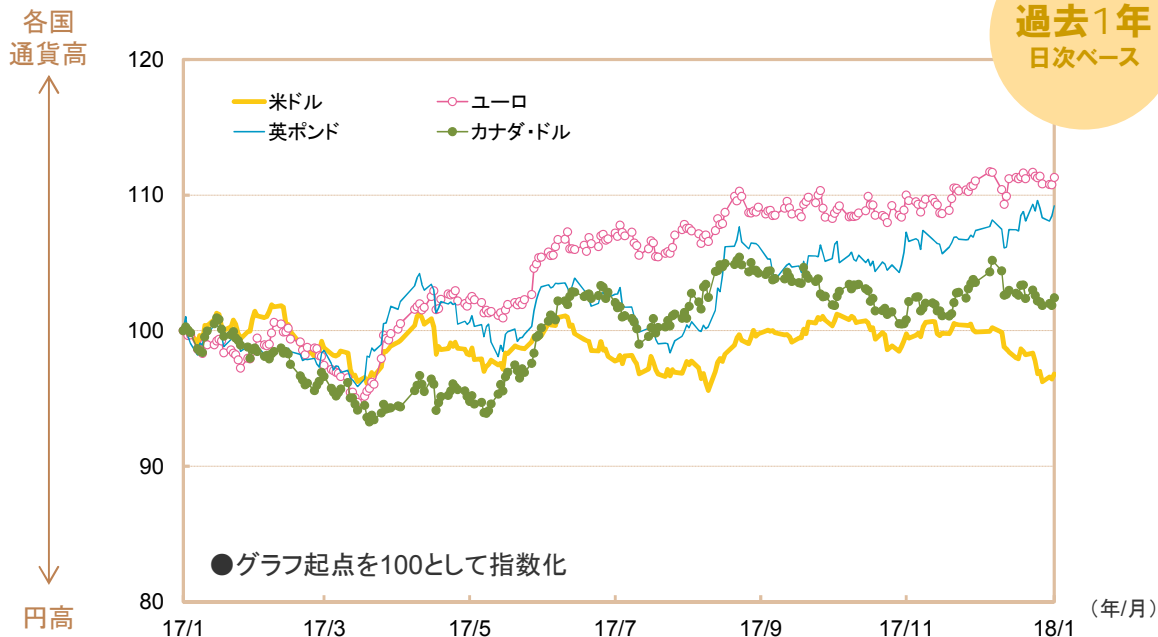
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

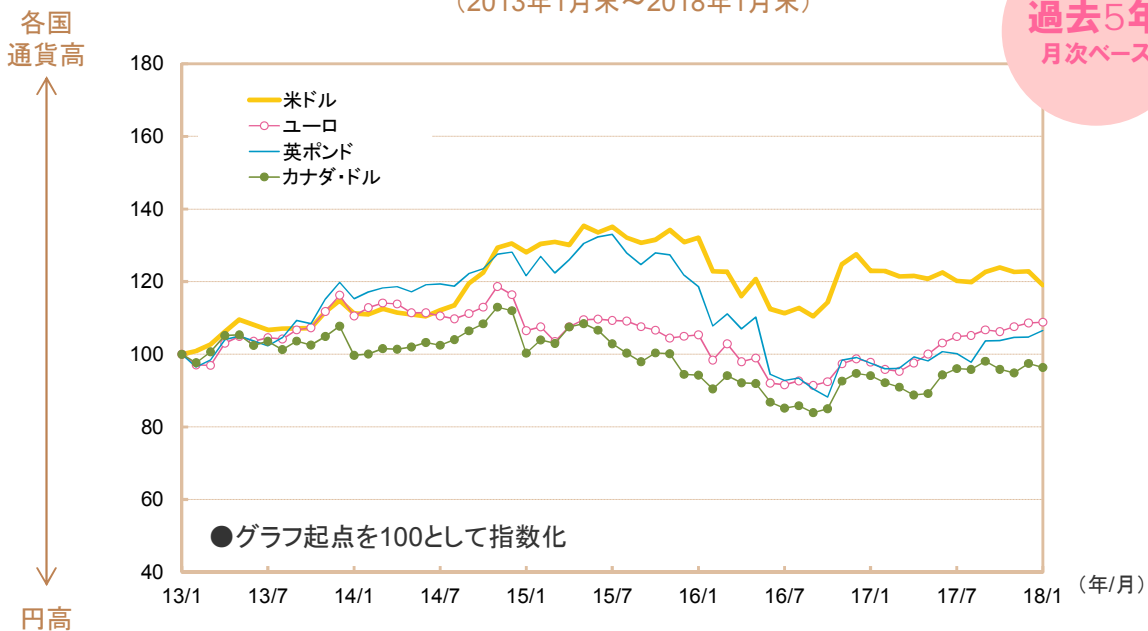
■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 主な為替の動き(対円)①

(2017年1月末～2018年1月末)



(2013年1月末～2018年1月末)



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

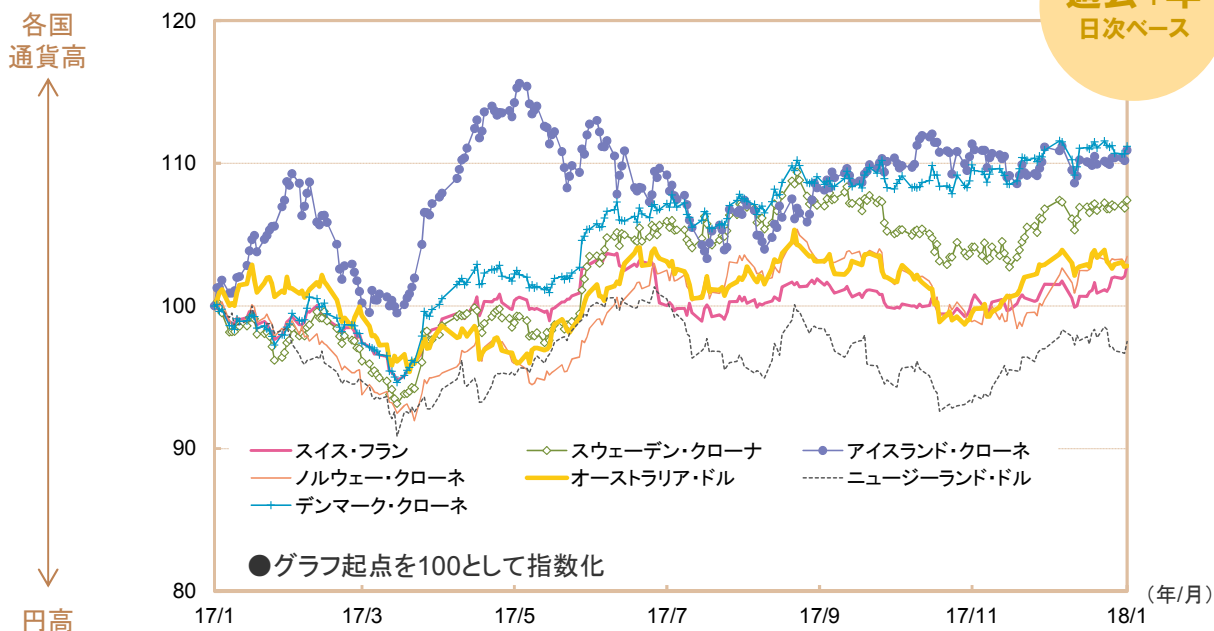
日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 主な為替の動き(対円)②

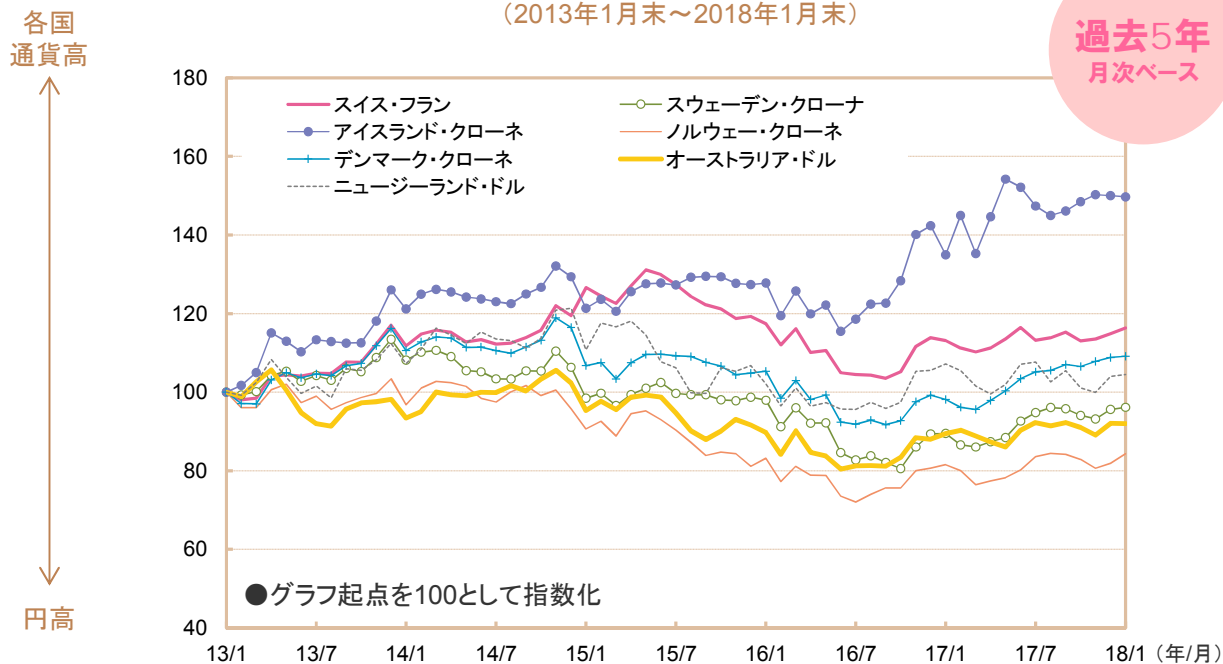
(2017年1月末～2018年1月末)

過去1年  
日次ベース



(2013年1月末～2018年1月末)

過去5年  
月次ベース



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

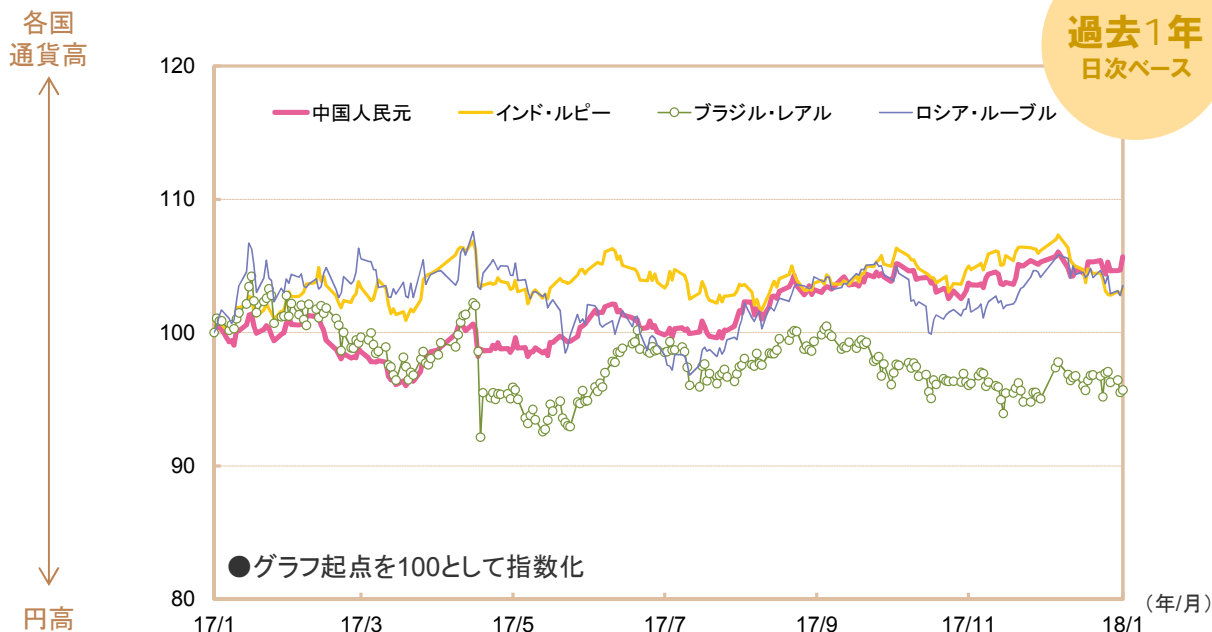
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

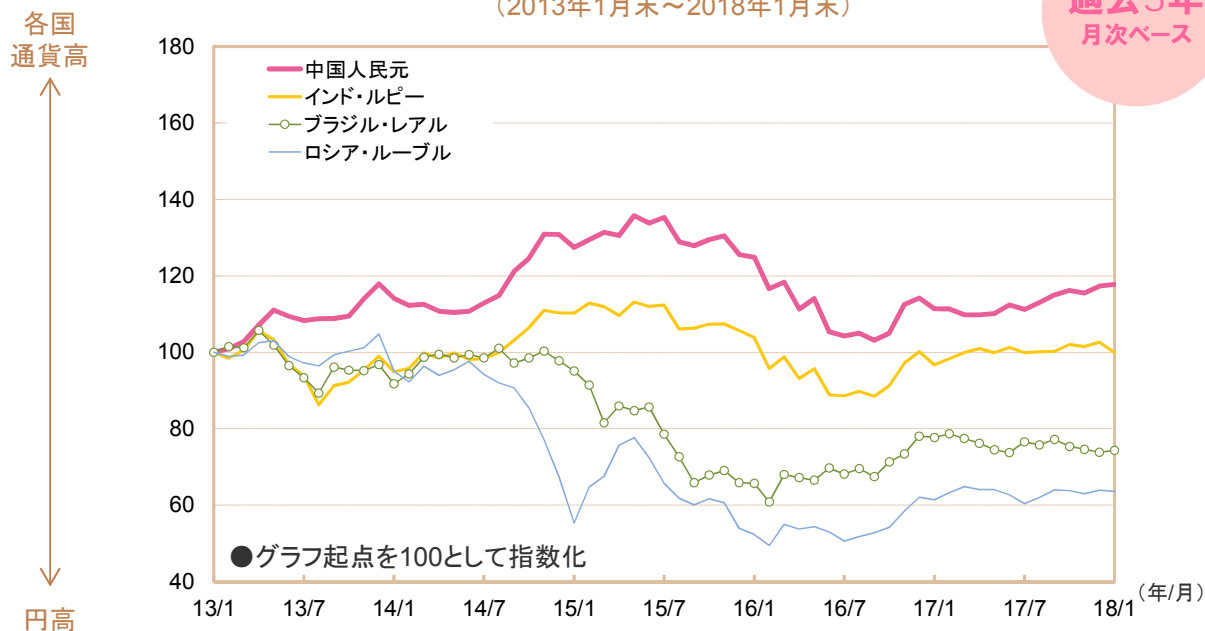
■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

主な為替の動き(対円)③

(2017年1月末～2018年1月末)



(2013年1月末～2018年1月末)



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

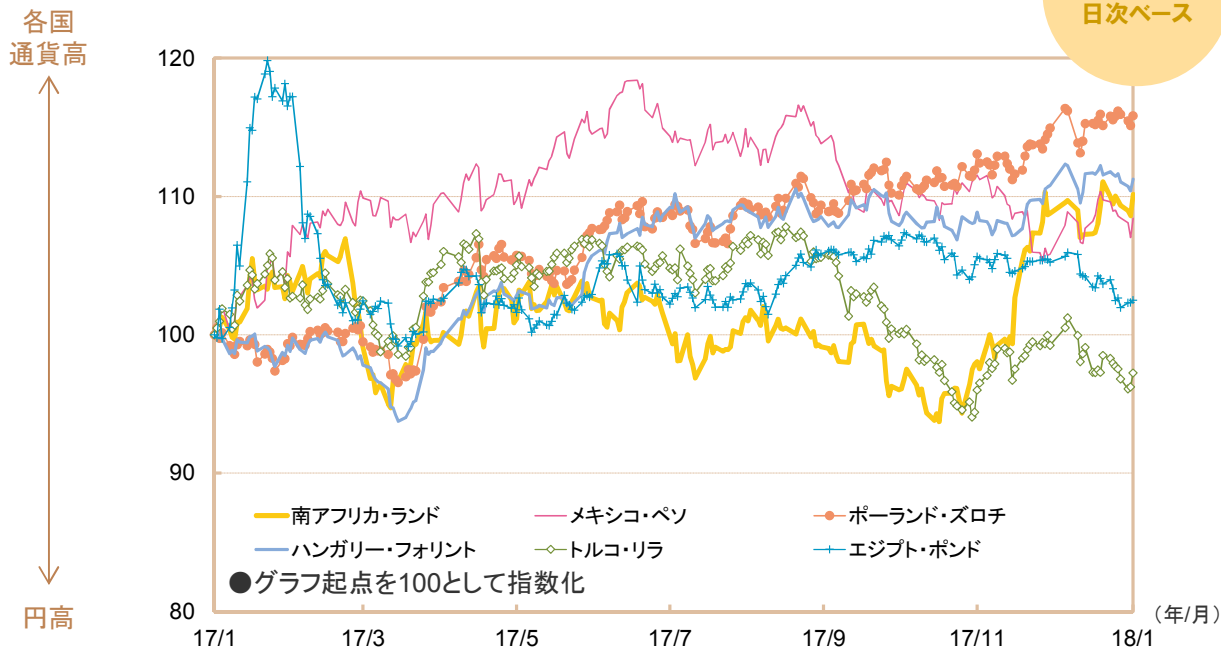
日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 主な為替の動き(対円)④

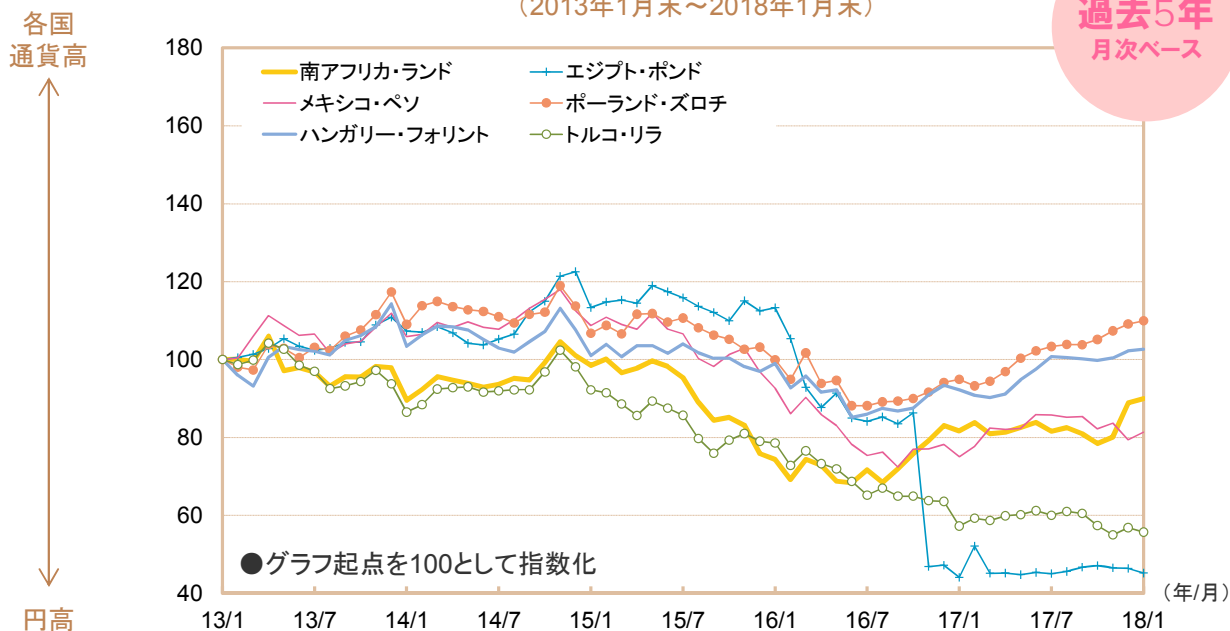
(2017年1月末～2018年1月末)

過去1年  
日次ベース



(2013年1月末～2018年1月末)

過去5年  
月次ベース



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

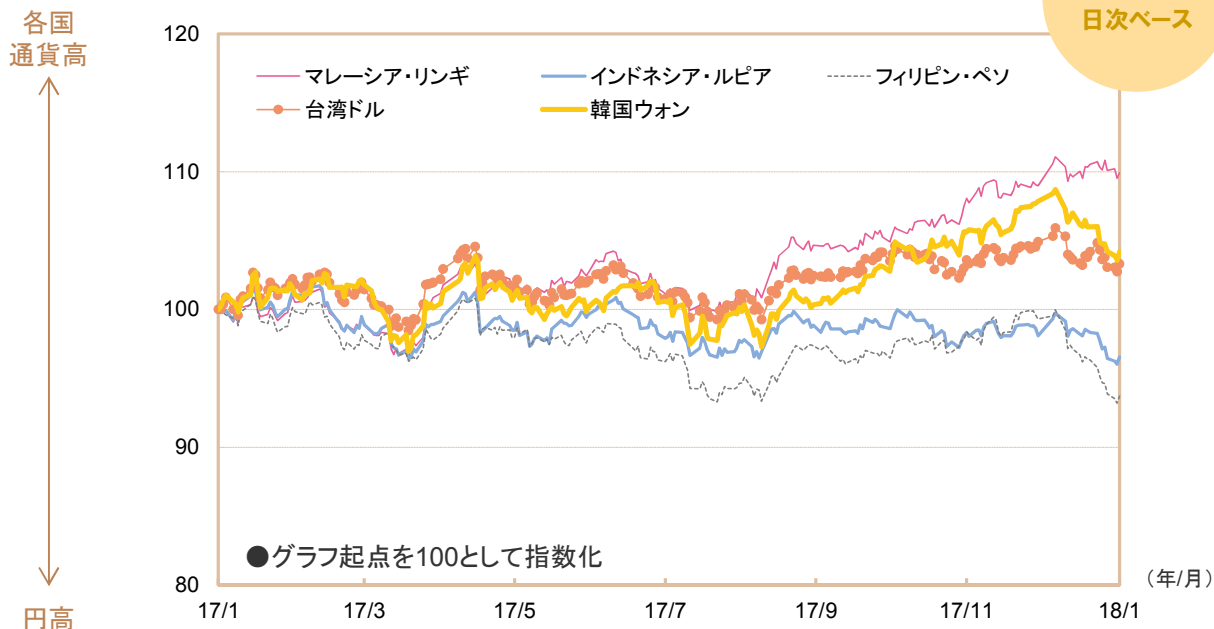
日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 主な為替の動き(対円)⑤

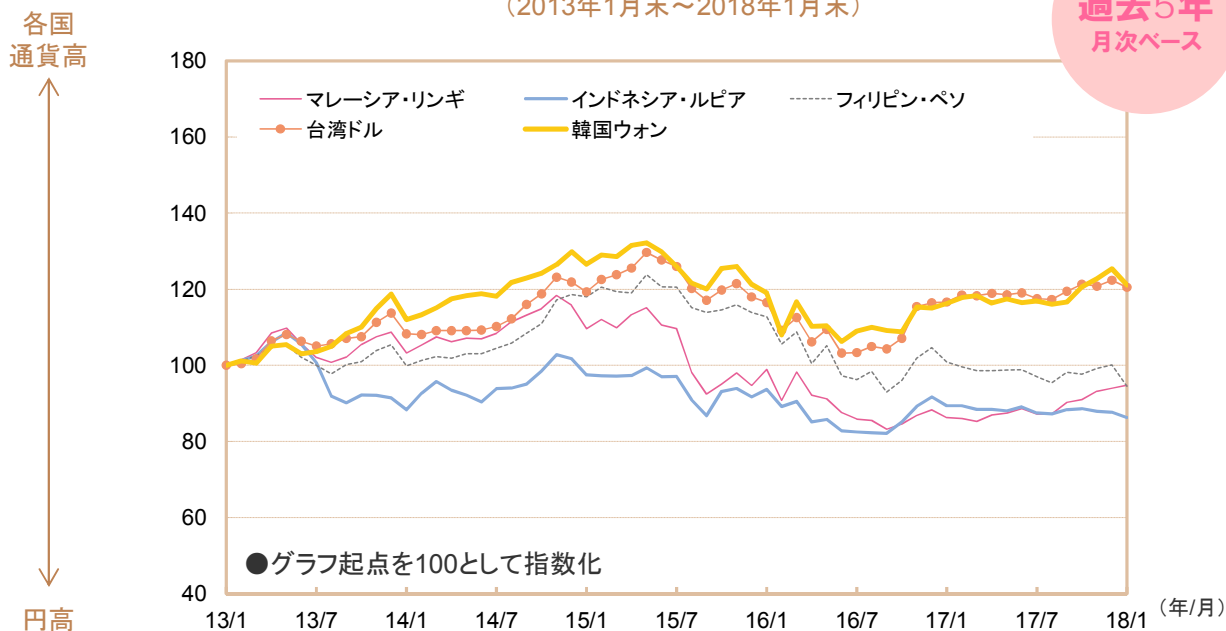
(2017年1月末～2018年1月末)

過去1年  
日次ベース



(2013年1月末～2018年1月末)

過去5年  
月次ベース



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 今月のピックアップカントリー①



### ユーロ圏



#### <中長期的な投資の魅力>

- ユーロ圏では、12月の総合PMI(購買担当者指数)が景気の拡大・悪化の分かれ目となる50を引き続き大きく上回り、2011年2月以来の高水準となりました。サービス業が活況となっているほか、堅調な内需や輸出受注などを背景に製造業も堅調となっています。国別でみると、総合PMIでけん引役となったのは、アイルランドとフランスでした。そして、これに続き、ドイツやイタリア、スペインなども良好な数字を示しました。なお、1月についても、総合PMI(速報値)は、低下するとの予想に反して上昇し、明るい先行きを示唆する状況となっています。
- ユーロ圏GDP(速報値)は、2017年10-12月に前年比+2.7%と前期(+2.8%)からやや減速したものの、2017年通年では+2.5%と10年ぶりの高成長となりました。なお、IMF(国際通貨基金)の最新見通し(2018年1月発表)によると、ユーロ圏の2018年のGDP成長率は+2.2%と引き続き着実な拡大が見込まれています。

#### <経済・政治動向について>

- 堅調な景気拡大が続く中、雇用環境が改善しています。2013年前半に12.1%に達していた失業率は、足元で8%台まで低下しています。一方、物価については、ECB(欧州中央銀行)が目標とする+2%弱を下回る低水準での推移となっています。ただし、足元で、企業が制約された生産能力をどのように高めるか模索していることなどを踏まえると、この先、賃金が増え始めるなど、2018年にインフレ圧力は高まるものと考えられます。
- 景気の堅調などを背景に、ECBは、2017年12月の政策理事会の議事要旨の中で、2018年の早い時期に金融政策姿勢やガイダンスに関する言い回しを再検討する可能性があるとして指摘しています。

#### <今後の注目点について>

- 目先では、3月に予定されているイタリア総選挙、そして、EU(欧州連合)離脱を巡る、英国とユーロ圏の協議の動向が注目されます。
- イタリアの総選挙については、反EUを掲げる「五つ星運動」が第1党となる可能性があります。ただし、同政党を含めいずれの政党も過半数を確保できないとみられており、政治不安の再燃が懸念されます。英国のEU離脱協議については、2018年から離脱後の関係を協議する第二段階に進み、EU離脱による激変緩和に向けた「移行期間」と、通商協定など「将来の関係」が協議される予定です。
- ただし、イタリアの総選挙、および英国のEU離脱を巡る動きは、ともに金融市場を大きく混乱させることはないと考えられます。

#### <リスクについて>

- ユーロ圏の経済が好調であることは、この先、ユーロの一段の上昇を通じて、輸出競争力の低下を招く可能性が考えられます。
- 景気拡大の勢いが増せば、物価上昇圧力の高まりとともに、この先、金融政策が引き締めに向かう可能性が考えられます。

※上記コメントは2018年1月時点のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



今月のピックアップカントリー②



インドネシア



<中長期的な投資の魅力>

- 東南アジアで最大の経済規模を誇るインドネシアは、世界で4番目に多い2億5,000万人以上の人口を抱えています。消費意欲が旺盛な中間層は毎年約700万人増加しており、需要拡大や新市場の誕生につながると期待されます。
- ジョコ大統領は、より持続的な経済再生への道筋を描くため、インフラ投資に積極的に取り組んでいます。同国のインフラ支出がGDPに占める割合は、他国と比べて非常に低く、大規模なインフラ整備を行なう十分な余地があるとみられます。
- また、同国は、中国主導の広域経済圏構想「一帯一路」の恩恵を受けるとみられ、近年では、様々なインフラ建設プロジェクトにおいて、中国からの投融資を得ています。

<経済・政治動向について>

- インドネシアのGDP成長率は、2017年に5.1%と、前年からやや加速したと市場で予想されています。2018年も、金融緩和の効果が幅広く波及することで内需が拡大し、安定的に成長すると期待されます。
- 金融の専門家として経験豊富なムルヤニ氏が財務相を務めており、財政運営に対する投資家の信頼は高まっています。ただし、2018年の財政赤字削減目標は楽観的とみられ、追加の財源が無い場合には、政府支出が抑制される可能性が高いと考えられます。
- 政府による食料の供給管理の改善などを背景に、インフレ圧力は落ち着きつつあります。こうしたなか、同国中央銀行は緩和的な金融政策を維持すると見込まれます。
- 中央銀行が準備金を引き続き積み増しているほか、国際収支は足元で改善傾向にあり、通貨ルピアは、2018年に相対的に安定した推移になると予想されています。
- 世界銀行のビジネス環境ランキング2018で同国は72位と、前年(91位)から大幅に順位が上昇しており、FDI(対内直接投資)のさらなる増加が期待されます。

<今後の注目点について>

- 2018年6月の地方選挙や、2019年の大統領選挙に向けた選挙運動に注目が集まります。ただし、足元の世論調査で、ジョコ大統領の支持率は高く推移しており、政治リスクは限定的とみられます。また、選挙を控え、同大統領はインフラ投資などの経済・財政政策に注力すると期待されます。
- 2017年5月にS&Pが同国債券の信用格付を投資適格級に引き上げたことで、主要格付会社3社全てで投資適格級の格付を得ました。12月にはフィッチが信用格付をさらに一段引き上げており、信用力の向上が同国資産の追い風になると見込まれます。

<リスクについて>

- インドネシアの国債や株式は、海外投資家の保有比率が高いことから、新興市場に対する投資家のリスク回避姿勢が世界的に強まるような局面では、国外への資金引き揚げの影響を受ける可能性があり、注意が必要と考えられます。
- 中国経済の急激な悪化や資源安は、インドネシア経済の成長見通しと通貨ルピアの安定にとってリスクになると考えられます。

※上記コメントは2018年1月時点のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

## 主要指標の動き①

(2018年1月末現在)

指標	当月末	騰落率(%)								
		2017年末比	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	10年	
株式	先進国(除く日本)注1	10,521.29	2.10	2.10	4.91	12.70	22.57	32.10	113.17	107.64
	新興国注2	2,732.11	4.98	4.98	8.11	17.51	36.97	31.40	60.26	55.08
日本	日経平均株価	23,098.29	1.46	1.46	4.94	15.93	21.31	30.69	107.37	69.93
	TOPIX(東証株価指数)	1,836.71	1.05	1.05	4.01	13.47	20.70	29.80	95.34	36.43
	JPX日経インデックス400	16,250.68	1.10	1.10	3.97	12.93	19.12	26.66	n.a.	n.a.
	JPX日経中小型株指数	15,988.05	1.06	1.06	6.33	18.30	32.03	57.22	161.25	146.75
	日経ジャスダック平均	4,239.85	7.33	7.33	14.19	26.94	47.79	79.91	168.86	172.65
	東証マザーズ	1,313.38	6.61	6.61	15.82	13.76	32.15	48.42	147.04	101.07
北米	NYダウ工業株30種	26,149.39	5.79	5.79	11.86	19.45	31.64	52.34	88.66	106.71
	S&P 500種	2,823.81	5.62	5.62	9.65	14.31	23.91	41.55	88.49	104.84
	ナスダック総合	7,411.48	7.36	7.36	10.16	16.75	32.00	59.89	135.87	210.12
	カナダトロント総合	15,951.67	▲ 1.59	▲ 1.59	▲ 0.46	5.33	3.68	8.71	25.75	21.26
欧州	英国 FTSE100	7,533.55	▲ 2.01	▲ 2.01	0.54	2.19	6.12	11.62	20.02	28.13
	ドイツ DAX指数	13,189.48	2.10	2.10	▲ 0.30	8.84	14.34	23.33	69.62	92.50
	ユーロ・ストックス	397.83	3.20	3.20	0.01	6.31	14.80	16.24	48.13	10.34
	ストックス・ヨーロッパ600指数	395.46	1.61	1.61	0.06	4.66	9.81	7.74	37.69	22.75
アジア・オセアニア	中国 上海総合	3,480.83	5.25	5.25	2.58	6.35	10.18	8.42	45.92	▲ 20.59
	中国 上海A株	3,645.80	5.26	5.26	2.59	6.36	10.21	8.38	46.02	▲ 20.75
	中国 上海B株	344.75	0.86	0.86	▲ 1.66	2.66	1.84	18.98	24.11	13.96
	香港 ハンセン指数	32,887.27	9.92	9.92	16.43	20.36	40.78	34.20	38.59	40.21
	香港 ハンセン中国企業株(H株)	13,561.65	15.82	15.82	17.85	25.25	38.33	15.71	11.80	8.62
	香港 ハンセン中国レッドチップ	4,819.21	8.88	8.88	9.96	12.93	27.88	7.56	2.56	▲ 5.35
	台湾 加権指数	11,103.79	4.33	4.33	2.87	6.49	17.53	18.61	41.45	47.63
	韓国 KOSPI	2,566.46	4.01	4.01	1.71	6.82	24.13	31.66	30.81	57.97
	シンガポール ST	3,533.99	3.85	3.85	4.74	6.14	15.99	4.21	7.66	18.52
	マレーシア FBM KLCI	1,868.58	3.99	3.99	6.90	6.17	11.79	4.90	14.81	34.12
	タイ SET	1,826.86	4.17	4.17	6.13	15.91	15.82	15.53	23.92	132.95
	インドネシア ジャカルタ総合	6,605.63	3.93	3.93	9.99	13.09	24.77	24.88	48.32	151.43
	フィリピン 総合	8,764.01	2.40	2.40	4.77	9.30	21.22	13.97	40.39	168.34
	ベトナム VN	1,110.36	12.81	12.81	32.62	41.71	59.24	92.75	131.43	31.54
	インド SENSEX	35,965.02	5.60	5.60	8.29	10.61	30.04	23.24	80.77	103.78
	豪州 S&P/ASX200	6,037.68	▲ 0.45	▲ 0.45	2.18	5.54	7.41	8.04	23.75	6.86
ニュージーランド NZSX 浮動株50	8,442.01	0.52	0.52	3.63	9.72	19.73	46.97	98.51	129.99	
中南米	ブラジル ボベスパ	84,912.70	11.14	11.14	14.27	28.81	31.30	81.02	42.09	42.73
	メキシコ IPC	50,456.17	2.23	2.23	3.76	▲ 1.09	7.35	23.21	11.44	75.23
	アルゼンチン メルバル	34,938.64	16.21	16.21	25.07	61.88	83.28	311.50	909.08	1640.60
東欧	ロシア RTS(米ドル建て)	1,282.36	11.08	11.08	15.17	27.33	10.15	73.91	▲ 20.95	▲ 32.75
	ロシア MICEX	2,289.99	8.54	8.54	10.93	19.30	3.27	38.98	48.05	45.46
	ポーランド ワルシャワ WIG	66,048.17	3.61	3.61	1.82	5.52	19.58	26.77	41.01	38.33
	トルコ イスタンブール100種	119,528.79	3.64	3.64	8.52	11.16	38.51	34.38	51.72	179.94
その他	南アフリカ FTSE/JSE アフリカ全株指数	59,506.12	0.00	0.00	0.89	7.79	12.73	16.07	46.99	117.83
	エジプト EGX30	15,042.37	0.15	0.15	4.88	12.09	18.70	52.82	168.30	45.79

● 休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

注1 先進国(除く日本)株価指数 :MSCI-KOKUSAIインデックス(米ドル・ベース)  
ただし、騰落率については、日興アセットマネジメントが円換算して算出

注2 新興国株価指数 :MSCIエマージング・マーケット・インデックス(米ドル・ベース)  
ただし、騰落率については、日興アセットマネジメントが円換算して算出

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。  
(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

**日興アセットマネジメント**

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

## 主要指標の動き②

(2018年1月末現在)

指標	当月末	騰落率(%)								
		2017年末比	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	10年	
債券	日本国債 注3	359.41	▲ 0.18	▲ 0.18	0.24	0.43	0.72	4.96	12.19	24.81
	先進国(除く日本)国債 注4	456.62	▲ 1.84	▲ 1.84	▲ 1.07	1.67	6.01	▲ 1.89	28.53	32.66
	新興国債券 注5	831.91	▲ 3.59	▲ 3.59	▲ 4.58	▲ 0.01	2.80	11.14	42.32	95.48
商品など	東証REIT(配当込み)	3,357.09	5.25	5.25	8.31	4.26	▲ 1.48	2.96	68.40	78.01
	S&PグローバルREIT指数(ヘッジなし、円ベース)	452.87	▲ 4.61	▲ 4.61	▲ 1.36	▲ 0.03	3.57	1.32	68.16	75.68
	新興国REIT指数 注6	280.26	▲ 2.15	▲ 2.15	7.72	4.94	14.09	▲ 5.27	20.89	117.14
	WTI先物	64.73	7.13	7.13	19.03	29.02	22.57	34.18	▲ 33.60	▲ 29.45
	ニューヨーク金先物	1,343.10	2.58	2.58	5.71	5.47	10.87	5.00	▲ 19.19	44.73
	鉄鉱石(鉄分62%) 注7	72.35	2.22	2.22	23.97	▲ 0.97	▲ 13.29	12.69	▲ 51.96	-
	CRB指数	197.38	1.81	1.81	5.23	8.07	2.78	▲ 9.81	▲ 35.07	▲ 46.58
	S&P MLP 指数(ヘッジなし、円ベース)	4,844.50	5.73	5.73	9.33	1.47	▲ 3.69	▲ 19.07	▲ 2.00	101.66
	S&P BDC 指数	212.07	▲ 1.29	▲ 1.29	▲ 1.11	▲ 5.36	▲ 1.73	20.15	22.60	78.32

為替(対円)	当月末	騰落率(%)								
		2017年末比	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	10年	
北米	米ドル	109.19	▲ 3.11	▲ 3.11	▲ 3.92	▲ 0.97	▲ 3.20	▲ 7.06	19.05	2.57
	カナダ・ドル	88.66	▲ 1.11	▲ 1.11	0.55	0.35	2.42	▲ 3.92	▲ 3.60	▲ 16.46
欧州	ユーロ	135.55	0.23	0.23	2.43	3.82	11.30	2.18	8.87	▲ 14.31
	英ポンド	154.97	1.70	1.70	2.67	6.35	9.22	▲ 12.41	6.55	▲ 26.74
	スイス・フラン	117.24	1.29	1.29	2.93	2.81	2.83	▲ 8.12	16.35	19.12
	スウェーデン・クローナ	13.86	0.56	0.56	2.15	1.39	7.40	▲ 2.35	▲ 3.87	▲ 17.09
	アイスランド・クローネ	1.086	▲ 0.20	▲ 0.20	0.83	1.58	10.91	23.31	49.70	▲ 33.83
	ノルウェー・クローネ	14.15	3.01	3.01	1.74	0.93	3.46	▲ 6.95	▲ 15.65	▲ 28.08
	デンマーク・クローネ	18.21	0.24	0.24	2.41	3.74	11.19	2.21	9.12	▲ 14.19
アジア・オセアニア	中国人民元	17.36	0.35	0.35	1.30	5.85	5.68	▲ 7.61	17.72	17.14
	香港ドル	13.96	▲ 3.26	▲ 3.26	▲ 4.19	▲ 1.13	▲ 4.00	▲ 7.91	18.03	2.24
	台湾ドル	3.74	▲ 1.51	▲ 1.51	▲ 0.69	2.53	3.32	0.97	20.49	13.00
	韓国ウォン(100ウォン当たり)	10.20	▲ 3.39	▲ 3.39	0.42	3.59	4.21	▲ 4.30	21.12	▲ 9.64
	シンガポール・ドル	83.21	▲ 1.20	▲ 1.20	▲ 0.21	2.28	4.00	▲ 4.10	12.29	10.77
	マレーシア・リングギ	27.99	0.88	0.88	4.23	8.69	9.92	▲ 13.46	▲ 5.19	▲ 14.93
	タイ・バーツ	3.48	0.67	0.67	1.86	5.25	8.39	▲ 3.13	13.38	2.83
	インドネシア・ルピア(100ルピア当たり)	0.816	▲ 1.57	▲ 1.57	▲ 2.62	▲ 1.39	▲ 3.46	▲ 11.45	▲ 13.70	▲ 29.15
	フィリピン・ペソ	2.13	▲ 5.62	▲ 5.62	▲ 3.29	▲ 2.60	▲ 6.30	▲ 19.94	▲ 5.53	▲ 19.13
	ベトナム・ドン(100ドン当たり)	0.481	▲ 3.10	▲ 3.10	▲ 3.86	▲ 0.95	▲ 3.69	▲ 12.80	9.12	▲ 27.86
	インド・ルピー	1.72	▲ 2.68	▲ 2.68	▲ 2.17	▲ 0.03	3.30	▲ 9.40	▲ 0.13	▲ 36.48
オーストラリア・ドル	87.96	▲ 0.09	▲ 0.09	1.10	▲ 0.31	2.80	▲ 3.55	▲ 8.00	▲ 7.75	
ニュージーランド・ドル	80.41	0.52	0.52	3.37	▲ 2.97	▲ 2.50	▲ 5.68	4.51	▲ 4.09	
中南米	ブラジル・レアル	34.26	0.70	0.70	▲ 1.33	▲ 2.86	▲ 4.30	▲ 21.79	▲ 25.62	▲ 43.39
	メキシコ・ペソ	5.87	2.45	2.45	▲ 1.06	▲ 5.19	8.42	▲ 25.18	▲ 18.63	▲ 40.28
	アルゼンチン・ペソ	5.56	▲ 8.20	▲ 8.20	▲ 13.73	▲ 11.03	▲ 21.64	▲ 59.18	▲ 69.84	▲ 83.51
	コロンビア・ペソ(100ペソ当たり)	3.86	2.16	2.16	3.25	4.59	0.02	▲ 19.88	▲ 25.31	▲ 29.75
	チリ・ペソ(100ペソ当たり)	18.11	▲ 1.08	▲ 1.08	1.46	6.72	4.11	▲ 2.49	▲ 6.91	▲ 20.98
東欧	ペルー・ヌエボ・ソル	33.95	▲ 2.45	▲ 2.45	▲ 2.89	▲ 0.22	▲ 1.57	▲ 11.54	▲ 4.33	▲ 6.44
	ロシア・ルーブル	1.94	▲ 0.58	▲ 0.58	▲ 0.28	5.31	3.54	14.91	▲ 36.40	▲ 55.41
	ポーランド・ズロチ	32.64	0.77	0.77	4.55	6.39	15.83	2.98	9.98	▲ 25.77
	ハンガリー・フォリント(100フォリント当たり)	43.72	0.42	0.42	2.87	1.86	11.26	1.60	2.65	▲ 28.65
	ルーマニア・レイ	29.15	0.57	0.57	1.44	1.83	7.74	▲ 2.52	2.58	▲ 31.40
その他	トルコ・リラ	29.07	▲ 2.02	▲ 2.02	▲ 2.98	▲ 7.23	▲ 2.76	▲ 39.58	▲ 44.27	▲ 68.00
	南アフリカ・ランド	9.22	1.26	1.26	14.64	10.25	10.15	▲ 8.63	▲ 10.01	▲ 35.17
	エジプト・ポンド	6.18	▲ 2.61	▲ 2.61	▲ 4.07	0.27	2.50	▲ 60.10	▲ 54.78	▲ 67.76

(騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス▲の場合は円高)

- 注3 日本国債指数 : FTSE日本国債インデックス(円ベース) 注7 鉄鉱石 : 原則として、月末前日の値  
 注4 先進国(除く日本)国債指数 : FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)  
 注5 新興国債券指数 : JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(ヘッジなし・米ドル・ベース)  
 注6 新興国REIT指数 : S&Pエマージング・リート・トータルリターン(米ドル・ベース)  
 ただし、騰落率については、日興アセットマネジメントが円換算して算出  
 ただし、騰落率については、日興アセットマネジメントが円換算して算出

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。  
 (信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況などについてお伝えすることを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
- 当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について弊社が保証するものではありません。
- 当資料に示す各指数の著作権・知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。
- 当資料に示す意見は、特に断りのない限り当資料作成日現在の弊社の見解を示すものです。
- 当資料中のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料に掲載されている数値、図表等は、特に断りのない限り当資料作成日現在のものです。

